

篠田大郎 （註） 國文學者。明治二十四年十月、二十九日東京生れ（一九〇一）。大正十五年東京帝國大學文學部國文學科卒。國土館短期大學、東京女學館短期大學、全薙短期大學各教授歴任。この間出版社樂浪書院經營。近代文學專攻。

著書『國文學概論—國文學の階級性』（昭和六年十月十五日 春陽堂）、『史の唯物論 近代日本文学史』（昭和七年四月五日 春陽堂）、『史の唯物論 近代日本文学史』（昭和七年四月五日 春陽堂）、

『正岡子規研究』（渡邊順一、神畑勇共編、昭和八年十一月十五日 樂浪書院）、

『石川啄木研究』（合著・金田一京助、石川正雄共編、昭和八年十一月五日 樂浪書院）、

『近代日本文学研究』（昭和九年十月十五日 樂浪書院）、カール・フロレンツ著『日本文学史』（土方定一共譯、昭和十一年六月

十日 樂浪書院）、『學術的議論の書方』（昭和十一年七月十日 橘

書店）、『近代日本文学研究 大正文學作家論・下卷』（合著・佐藤春夫、宇野浩一監修編

纂、昭和十八年一月、三白山學館）等。

